

『Cisco Jabber Softphone のリリースノート』 : VDI-Windows リリース 12.8

First Published: 2020-01-21

Last Modified: 2020-03-27

12.8 のビルド番号

Version	ビルド番号
VDI 版 Cisco Jabber Softphone リリース 12.8 <ul style="list-style-type: none">• Cisco JVDI Agent• Cisco JVDI Client	12.8.0.301886
VDI 版 Cisco Jabber Softphone リリース 12.8(1) <ul style="list-style-type: none">• Cisco JVDI Agent• Cisco JVDI Client	12.8.1.302494

『VDI 版 Cisco Jabber Softphone の新情報』—Windows リリース 12.8(1)

このリリースには、バグ修正とマイナーな機能拡張が含まれます。詳細については、「[リリース 12.8\(1\) の解決済みの警告 \(13 ページ\)](#)」を参照してください。

『VDI 版 Cisco Jabber Softphone の新情報』—Windows リリース 12.8

64 ビット向けのシスコ ヘッドセットのサポート

Microsoft Windows の 64 ビット版では、シスコ ヘッドセットのコール制御のサポートが強化されています。

Cisco Jabber のサポート

このリリースでは、次の新しい Windows 版 Cisco Jabber リリース 12.8 の機能がサポートされています。

- 音声デバイスの優先度
- コール パーク

- Cisco ヘッドセット サポート
- 会話ウィンドウのグローバル ショートカットキー
- Microsoft Office 2019 サポート
- 回線ごとのマルチライン着信音



Attention

N-1 または N-2 サポートでは、下位バージョンが使用可能な機能セットを決定します。

非推奨パラメータ

新しいオーディオ デバイスを Cisco Jabber がどのように処理するかを指定するために HeadsetPreference パラメータを追加しました。



Note

新しいパラメータは、廃止された HeadsetPreferenceOnVDI パラメータを置き換えます。

デフォルトでは、新しい音声デバイスを接続すると、Cisco Jabber が優先順位リストの先頭に追加されます。一部のホットデスク環境では、デフォルトの動作が問題になります。ユーザがシンクライアントとヘッドセットを移動すると、組み込みマイクが優先デバイスになります。

最新の会議室には、多くの場合、HDMI を使用した大きな壁面取り付け型モニタが備え付けられ、音声とビデオの両方を処理します。Cisco Jabber ユーザが HDMI を使用してモニタに接続すると、デフォルトではこのモニタが優先デバイスになります。

このパラメータを設定して、ユーザのヘッドセットが優先デバイスのままになるようにすることができます。ユーザは、音声設定でこの設定を上書きできます。新しいパラメータの詳細については、『Cisco Jabber 12.5 のパラメータ リファレンス ガイド』を参照してください。

ディスプレイ スケーリング

VMware ホライズンクライアントに [スケーリングの表示を許可 (Allow Display Scaling)] オプションのサポートが追加されました。この機能では、リモートデスクトップや公開されているアプリケーションが、シンクライアント スケーリング設定を使用します。これは視界が限られている人や、4K モニタなどの高解像度の画面を使用している人に役立ちます。

VMware ホライズンクライアントは、リモートデスクトップごとに表示スケーリング設定を個別に保存します。公開されたアプリケーションの場合、ディスプレイ スケーリング設定は、ユーザが利用できる公開済みアプリケーションすべてに適用されます。シンクライアントのスケーリング設定が 100% の場合でも、[スケーリングの表示を許可 (Allow Display Scaling)] オプションが表示されます。

通話中や会議中に通知をミュートする

VDI 導入環境のユーザは、通話中や会議中に通知音をミュートできるようになります。

プレゼンスの改善

VDI 版 Cisco Jabber Softphone がホストされた仮想デスクトップにプレゼンス（ステータス）情報を渡す方法が改善されました。これで、ユーザがシンクライアントをロックすると、そのプレゼンスが**不在**に更新されます。接続がドロップした場合、プレゼンスは**[オフライン（Offline）]**に更新されます。

また、ユーザが HVD から切断した場合に [Windows 版 Cisco Jabber（Cisco Jabber for Windows）] がプレゼンス ステータス进行处理する方法を制御する新しいパラメータも追加されました。

- **true**: ユーザーがサインアウトしたか、HVD から切断された場合、Cisco Jabber が自動でサインアウトし、10秒以内に出席ステータスを**オフライン**に変更します。
- **false** (デフォルト): ユーザーがサインアウトしたか、HVD から切断された場合、Cisco Jabber はそのままサインイン済みとなり、出席ステータスは、**Available**となります。

新しいパラメータの詳細については、『Cisco Jabber 12.8 のパラメータ リファレンス ガイド』を参照してください。

VMware 公開アプリケーションのサポート

Microsoft Windows ベースのシンクライアントの VMware 共有アプリケーションモードのサポートが追加されました。

バージョン サポート戦略

Windows 版 Cisco Jabber および Cisco JVDI Agent のバージョンは常に一致している必要があります。ただし、JVDI クライアントのバージョンは同じであるか、または最大 2 つのリリース (N-1 のサポート) にすることができます。たとえば、次のバージョンの組み合わせがサポートされています。

- Windows 版 Cisco Jabber Release 12.8、Cisco JVDI Agent Release 12.8 および Cisco JVDI Client Release 12.8
- Windows 版 Cisco Jabber Release 12.8、Cisco JVDI Agent Release 12.8 および Cisco JVDI Client Release 12.7
- Windows 版 Cisco Jabber Release 12.8、Cisco JVDI Agent Release 12.8 および Cisco JVDI Client Release 12.6

VDI フォールバック モード

Cisco JVDI Agent および Cisco JVDI Client の通信ができない場合があります。この問題は、仮想チャネルのネットワークに問題がある、または VDI 版 Cisco Jabber Softphone のインストールに問題が発生したために発生します。JVDI エージェントと JVDI クライアントが通信できない場合は、Cisco Jabber は VDI 最適化モードで動作できません。トラブルシューティングの詳細については、『VDI 版 Cisco Jabber Softphone リリース 12.8 の導入およびインストールガイド』を参照してください。

このリリースでは、VDI フォールバック モードと、このモードを有効にする新しいパラメータについて紹介します。VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、JVDI エージェントと JVDI クライアントが

通信可能か確認するために、10 秒ごとに仮想チャネルを確認します。通信がダウンした場合、2 回連続チェックで VDI 版 Cisco Jabber Softphone は Cisco Jabber を VDI フォールバック モードに切り替えます。新しい EnableVDIFallback パラメータの詳細については、『Cisco Jabber 12.8 のパラメータ リファレンス ガイド』を参照してください。

VDI フォールバック モードでは、ユーザは ICA チャネルをまたぐ音声でコールの送受信を行えません。Cisco Jabber 接続ステータスは、**VDI 搭載ソフトフォン**から**ソフトフォン**へ変更します。ユーザはビデオを受信できます。ビデオを送信する機能は、Citrix または VMware バージョンの機能によって異なります。音声とビデオの品質は、ネットワークの条件および Citrix または VMware バージョンの機能によって異なります。Cisco Jabber が VDI フォールバック モードで実行すると、各コールの開始時点で通知メッセージが表示されます。

VDI 版 Cisco Jabber Softphone が JVDI エージェントと JVDI クライアント間の通信を検出すると、Cisco Jabber を自動的に VDI 最適化モードに戻ります。



Note

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、コール間でのみモードを切り替えます。

一般的な要件

一般的な要件は、すべての VDI 版 Cisco Jabber Softphone プラットフォームに適用されます。



Important

このガイドに記載されているコンポーネント、バージョンおよび最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

アクセサリ

推奨される音声およびビデオアクセサリのリストについては、http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.html の「*Unified Communications Endpoint and Client Accessories*」を参照してください。

すべての Jabra デバイスが最新のファームウェアを実行していることを確認します。Jabra Direct を使用してファームウェアを更新できます。

Windows 版 Cisco Jabber

Cisco Jabber ホステッド仮想デスクトップ (HVD) で実行されている Windows 12.8 の場合。

仮想環境の互換性の詳細については、リリースの Cisco Jabber ドキュメントを参照してください。

Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ

推奨: CUCM リリース 11.5 (1) SU3 以降

最小値: CUCM リリース 10.5

Mobile and Remote Access (MRA) 向けの Cisco Expressway

推奨: Expressway X12.5

最小: Expressway X8.11.4

接続ブローカー: ホスト仮想デスクトップにインストールされます。

- Citrix 仮想アプリとデスクトップ (旧称 XenApp と XenDesktop) バージョン 7.x 以降 (最新の LTSR 1912) および 7.15 CU5 LTSR

共有デスクトップは、フルスクリーンモードでのみサポートされます。公開されたアプリケーションは、VDI 版 Cisco Jabber Softphone (Windows) の全画面モードでサポートされています。

- VMware Horizon バージョン 6.x ~ 7.11

接続ブローカーは、ホスト仮想デスクトップへの接続を作成するソフトウェアです。接続ブローカーは、次のような多数のタスクを実行します。

- ユーザ名を検証し、ユーザの接続を提供します。
- ユーザが特定の仮想デスクトップに接続できるようにします。

オペレーティング システム: ホスト仮想デスクトップにインストールされています。

- Microsoft Windows 8 (32 ビット)
- Microsoft Windows 8 (64 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 (32 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 64 (64 ビット)
- Microsoft Windows 10 (32 ビット)
- Microsoft Windows 10 (64 ビット)

サーバオペレーティング システム: ホスト仮想デスクトップにインストールされています。

- Microsoft Windows サーバ 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2016

ポート要件

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Cisco Jabber と同じポートと、次の追加のポート範囲が必要です。

Table 1: ポートの使用

Port Range	説明
16384-32767	RTP の UDP インバウンドおよびアウトバウンドトラフィック (音声およびビデオストリーム) このポート範囲を減らすように Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ を設定できます。CSF デバイスに関連付けられている SIP プロファイルの 開始/停止メディアポート の設定を変更します。

サポートされるコーデック

オーディオ コーデック

- G.722
- G.722.1 (24 および 32k)
G.722.1 は Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ 8.6.1 以降でサポートされます。
- G.711 A-law
- G.711 u-law
- G.729a
- Opus
Opus は、Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ 11.0 以降でサポートされています。

ビデオ コーデック:H.264/AVC

要件: Windows



Important

このガイドに記載されているコンポーネント、バージョン および最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

Microsoft Windows シンクライアント: ハードウェア

シンクライアントの最小システム要件は次のとおりです。

- インストール済み RAM 2 GB
- 物理メモリの空き容量 1 GB
- 空きディスク容量 256 MB

- CPU モバイル AMD Sempron プロセッサ 3600+, 2 GHz Intel Core 2 CPU、または T7400 (2.16 GHz)
- DirectX 11 互換 GPU
- USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

Microsoft Windows: シンクライアントにインストールされています。

- Microsoft Windows 8 (32 ビット)
- Microsoft Windows 8 (64 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 (32 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 (64 ビット)
- Microsoft Windows 10 (32 ビット)
- Microsoft Windows 10 (64 ビット)
- Windows シン PC 32-ビット



Note VDI 版 Cisco Jabber Softphone Windows は、Microsoft .NET Framework または Java モジュールを必要としません。

Windows Embedded Standard シンクライアント: ハードウェア

シンクライアントの最小システム要件は次のとおりです。

- インストール済み RAM 2 GB
- 物理メモリの空き容量 1 GB
- 空きディスク容量 256 MB
- CPU のパフォーマンスは、ビデオの最大解像度に影響します。Windows Embedded Standard シンクライアントでは、予想される解像度は CPU によって異なります。
 - クアッドコア AMD GX-420CA SOC 2 GHz または類似の最大 720p
 - デュアルコア AMD G-T56N 1.65 GHz または類似の 240p まで
 - Eden X2 U4200 1 GHz または同様の CPU を介したデュアルコアによる音声のみのサポート



Note これらのハードウェア仕様は、予想される解像度のガイドラインにすぎません。その他の要因は、ビデオの解像度に影響を与える可能性があります。

- DirectX 11 互換 GPU
- USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

Windows Embedded Standard: シンクライアントにインストールされています。

- Windows Embedded Standard 7 (64 ビット)
64-bit Systems (KB4019990) 用の Windows Embedded Standard 8 の更新が必要
- Windows 10 IoT Enterprise

Citrix Workspace App または VMware ホライズン クライアント: シンクライアントにインストールされています。

- Windows 4.4 以降の Citrix Receiver (ICA)
- Windows 1808 以降の Citrix Workspace アプリ (ICA)



Important VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Microsoft ストアからダウンロードされた Citrix Workspace アプリをサポートしていません。

- Windows 4.1.0 以降の VMware Horizon クライアント
(バージョン 4.3 および 4.4 はサポートされていません)。

Citrix Workspace app または VMware ホライズンクライアントは、対応する接続ブローカーのユーザインターフェイスを提供します。



Important Cisco JVDI クライアントをインストールする前に、Citrix の受信側または VMware ホライズン クライアントをシンクライアントにインストールします。

Citrix 環境から VMware 環境 (またはその逆) に変更する場合は、Cisco JVDI クライアントを再インストールします。

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、VMWare および Citrix VDI 環境の両方で、Windows および Linux シンクライアント用の全画面表示およびウィンドウ表示をサポートしています。

制限事項と制約事項

コール制御アクセサリ

アクセサリコール制御 (通話量の調整、電話の応答または通話の終了、音声のミュート) は、互換性のあるヘッドセットでサポートされています。他の一部のヘッドセットは基本的な機能を提供しますが、アクセサリ VDI 版 Cisco Jabber Softphone コール制御機能は使用できません。互換性のあるヘッドセットとその他のアクセサリの完全なリストについては、https://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.htmlを参照してください。

BFCP の共有および Citrix Workspace App の保護

Citrix Workspace のサポートされているリリースでのアプリ保護と、VDI 版 Cisco Jabber Softphone の BFCP 共有が競合しています。ユーザが BFCP 共有を使用するには、アプリ保護が、Citrix Workspace で無効になっている必要があります。

コール保持

“「存続可能性」”とも呼ばれるコールの保持は、VDI 版 Cisco Jabber Softphone ではサポートされていません。ネットワークの中断が発生し、Cisco Jabber がコール保持モードになると、VDI ユーザに対してコールがドロップされます。

接続方法の変更

JVDI クライアントをインストールする前に、必ず Citrix または VMware をインストールする必要があります。したがって、次のいずれかの変更を行った後に、JVDI クライアントを再インストールする必要があります。

- Citrix または VMware のアップグレード
- Citrix から VMware、または VMware から Citrix への切り替え

Cisco Jabber の機能

VDI 版 Cisco Jabber Softphone リリース 12.8 では、次の点を除き、Windows リリース 12.8 のすべての機能で Cisco Jabber がサポートされています。

- アプリケーション共有 (Application sharing)
- [ハブ (Hub)] メニューからのオーディオ デバイスの選択
- Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST)
- チーム メッセージング モードのカスタム連絡先
- 遠端カメラ制御 (FECC)
- 連邦情報処理標準 140-2 (FIPS 140-2) および情報保証 (IA) のコンプライアンス
- H-264 高プロファイルサポート
- IM 専用画面共有

- 改善されたビデオ解像度
- Cisco Jabber Jabber へのコール
- Cisco Jabber デスクフォン ビデオ（シンククライアントがユーザのデスクフォンに接続している場合にデスクトップ上に表示されるビデオ）
- Kerberos および共通アクセスカード（CAC）とシングルサインオン（SSO）
VDI 版 Cisco Jabber Softphone は CAC をサポートせず、SSO でのみ Kerberos をサポートします。
- PreferP2PDesktopShare（Cisco Jabber 構成ファイルにある、ビデオ共有を介して人物間の画面共有を優先順位付けするための構成パラメータ）
- ワイヤレス画面共有
- チームメッセージングモード用の XMPP 連合

Cisco メディア サービス インターフェイスとデュアル VLAN

Cisco Media Services Interface (MSI) およびデュアル VLAN は、このリリースではサポートされていません。

Citrix を使用したリアルタイムの Webcam の HDX

VDI 版 Cisco Jabber Softphone カメラの HDX プラグアンドプレイはサポートされていません。Citrix カメラのインタラクションに HDX Webcam を使用することを推奨します。

リモート ディスプレイ プロトコルのサポート

VDI 版 Cisco Jabber Softphone Citrix の場合、VMware および ICA では PC 上の IP (PCoIP) のみがサポートされます。

SIP プロファイル

Cisco ユニファイドクライアント サービス フレームワーク (CSF) デバイスを作成する場合は、デバイスの **SIP プロファイル** を指定します。SIP プロファイルでは、登録タイマーおよびキープアライブタイマー、メディアポート、サイレント制御など、電話機の特定の SIP 情報を提供します。



Important

セキュア電話プロファイルを選択した場合は、Certificate Authority Proxy Function (capf) 認証モードを **Null** 文字列で指定しないでください。この設定を VDI 版 Cisco Jabber Softphone と併用すると、Cisco Unified Communications Manager への Cisco Jabber 登録に失敗します。

VMware ビューでは、USB カメラ リダイレクションはサポートされていない

USB カメラリダイレクションは、VMware ビューではサポートされていません。

パフォーマンスと動作に関するメモ

Jabra Bluetooth デバイスの設定の調整

ほとんどの Jabra Bluetooth デバイスでは、オーディオパスの立ち上げ時に短時間の遅延（約 1 ～ 3 秒）が発生します。サポートされている Jabra Bluetooth デバイスの場合、Jabra Direct でデバイス設定を変更すれば遅延をなくせます。詳細については、Jabra のウェブサイトをご覧ください。

Before you begin

Jabra Direct をインストールする必要があります。

Procedure

-
- Step 1** Jabra Direct を開きます。
 - Step 2** 設定を変更する Jabra デバイスをクリックします。
 - Step 3** [設定 (Settings)] をクリックします。
 - Step 4** [ソフトフォン (PC) (Softphone (PC))] をクリックして展開します。
 - Step 5** [優先ソフトフォン (Preferred softphone)] リストから、[Cisco Jabber] を選択します。
 - Step 6** [電話回線を開く (Open phone line)] を [オン (On)] に設定します。
 - Step 7** [PC オーディオ (PC audio)] を [オフ (Off)] に設定します。
 - Step 8** [適用 (Apply)] をクリックします。
-

カメラのホットスワップ

VDI 版 Cisco Jabber Softphone では、通話の開始時にビデオの品質が設定されます。サポートされている HD カメラのいずれかで通話を開始してから、標準解像度のカメラに切り替えると、ビデオの品質が影響を受けます。カメラの切り替えは、通話と通話の間で行うことをお勧めします。

シンクライアントにインストールされた Cisco Jabber

Cisco Jabber をシンクライアントにインストールしないことをお勧めします。Cisco Jabber をシンクライアントにインストールする場合は、ユーザがホストされた仮想デスクトップにログインする前に Cisco Jabber からサインアウトしてください。VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Cisco Jabber が HVD にインストールされている場合にのみ動作します。

Echo Cancellation

エコー キャンセレーションは、音声コールに対してのみ有効になります。

GPU パススルー

VDI 版 Cisco Jabber Softphone Cisco Jabber が VDI 最適化モードで動作するかどうかを判断するには、表示アダプタ名によります。VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、部分文字列「Citrix」または「VMWare」を含む表示アダプタ名のみをサポートします。

ディスプレイ アダプタに HVD ダイレクトアクセスができるように GPU パススルーを設定すると、ディスプレイ アダプタ名には必要な部分文字列が含まれません。したがって、VDI 版 Cisco Jabber Softphone は導入を非 VDI と誤って識別します。

この問題を回避するには、次の項目を HVD の Windows レジストリに追加します。

```
[HKEY_CURRENT_USER\Software\Cisco Systems, Inc.\JVDI] "isVDIEnabled"="true"
```

登録を編集した後、Cisco Jabber を再起動します。

Jabra ファームウェア

すべての Jabra デバイスが最新のファームウェアを実行していることを確認します。Jabra Direct を使用してファームウェアを更新できます。詳細については、Jabra のウェブサイトをご覧ください。

ビデオ コーデックのパフォーマンス

ソフトウェアのデコードは CPU に大きく依存します。下位の Cpu を使用した Cisco JVDI Client の推定 cpu 使用率は次のとおりです。

- 1.5 ghz、デュアル コア CPU: 65%(55 to75%)
- 1.5 GHz、クアッドコア CPU: 35% (25~45%)

組み込みのハードウェアデコーダを搭載したカメラを使用すると、CPU の負荷が軽減されます。

注意

バグの重大度レベル

既知の不具合またはバグには、不具合の優先度を示す重大度レベルが設定されています。これらのリリース ノートには次のバグ タイプが含まれています。

- 重大度レベル 1 または 2 のすべてのバグ
- 重大度レベル 3 の重要なバグ
- 重大度レベル 6 の機能拡張要求を除く、お客様が発見したすべてのバグ

重要度	説明
1 壊滅的 (Catastrophic)	ほぼ一般的な状況において、システム全体が機能不全に陥る、または主なサブシステムの動作が停止する、またはネットワーク上の他の装置が妨害を受けるが、回避策がありません。
2 重大 (Severe)	重要な機能が使用できなくなり、回避策がありません。その他の機能および残りのネットワークは正常に動作します。

重要度	説明
3 中程度 (Moderate)	異例の状況で機能不全に陥るか、重要度の低い機能がまったく使用できなくなります。または、その他の機能不全に陥りますが影響を小さくする回避策があります。 ドキュメンテーションバグの最も高いレベル。
4 軽微 (Minor)	極めて異例の状況で機能不全に陥りますが、動作は基本的に特に操作しなくても回復します。ユーザは回避策を講じる必要はなく、パフォーマンスへの影響は許容範囲内です。
5 表面的 (Cosmetic)	システムの機能に対する悪影響はありません。
6 機能強化 (Enhancement)	新機能または機能改善に対する要求です。

バグの検索

ここに示されていないバグを検索するには、バグ検索ツールを使用します。

Procedure

-
- Step 1** バグ検索ツールにアクセスするには、<https://tools.cisco.com/bugsearch/search> をクリックします。
- Step 2** 自分の Cisco.com のユーザ ID とパスワードでサインインします。
- Step 3** 特定の問題の情報を検索するには、[検索 (Search for)] フィールドにバグ ID 番号を入力して Enter を押します。または、製品およびリリースで検索できます。
-

リリース 12.8(1) で未解決の問題

このリリースに未解決の不具合 (バグ) はありません。

リリース 12.8(1) の解決済みの警告

次の表が、このリリースで修正される問題 (バグ) の注意事項です。

警告 ID 番号	重大度	説明
CSCvs56982	3	JVDI 12.7 サービス遅延
CSCvs64535	3	Jabber が断続的にアプリケーションダイアルルールを適用しない
CSCvs77883	3	JVDI 12.7.1 では、最初の発信コールに対して断続的に呼び出し音を再生するために、間違ったスピーカーを使用します

警告 ID 番号	重大度	説明
CSCvs87113	3	Jabber 12.7.1 VDI:Outlook GUI のアーティファクトの更新速度が低下
CSCvs98123	3	収集がタイムアウトしたため、JVDI クライアント ログ収集に失敗しました
CSCvt15602	3	Windows OS で依存する dlls の一部が見つからない場合、vxc が起動しない
CSCvr15121	4	Jabber HVD は Exp-E 証明書を検証できません

リリース 12.8 で未解決の問題

警告 ID 番号	重大度	説明
CSCvs64535	3	Jabber が断続的にアプリケーション ダイアルルールを適用しない
CSCvs49186	6	JVDI 経由で HVD を使用している際の Jabber12.7。会議機能から削除不可

リリース 12.8 で解決済みの問題

警告 ID 番号	重大度	説明
CSCvr42142	2	JVDI クライアント 12.6 の電話機サービスは、ServicesDomain がブートストラップで有効になっている場合は登録されません
CSCvr46635	2	ビデオ コールで JVDI Client の Windows 7 のコール制御が表示されない
CSCvs60963	2	Jabber VDI がクライアントと通信できない
CSCvr73949	3	[VMWare]JVDI ソフトフォンが動作していない
CSCvs28536	3	VDI クライアントが JVDI バージョン 12.7 で到達可能なエラー通知がされない
CSCvs39980	3	ネットワーク カードがプライマリ CTI から削除された場合、Windows 12.7 CTI フェールオーバーの Jabber が動作しない
CSCvs44378	3	JabberCisco.exe のハンドルは、オープンプロセス リークによって高速に増加します。
CSCvs56213	3	ホライズン クライアントと vdi と cisco jabber コンポーネントの接続問題

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2021 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.